



Home (ホーム)

稲田学園だより NO. 25
令和2年 1月21日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 やさしく かしこく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっこ”

稲雲ホール絵画除幕式 天高く地に深く

1月15日(水)、本校の教育施設の落成記念として「稲雲ホール」に掲げた絵画の除幕式を行いました。

この絵画は、以前稲田小学校に勤務されていた須賀川二小の國井伸行先生に、教育施設の落成を記念して実行委員会が制作を依頼したもので、「稲雲～天高く地に深く」というタイトルで縦2.7m横4.5mもあるとても大きなものです。

式では、國井先生、同窓会長の橋本文男様、児童生徒代表2名、校長の5名で除幕すると、稲雲ホールに集まった全児童生徒から大きな歓声があがりました。

その後國井先生から絵に込められた想いなどを、次のようにお話していただきました。

- ・「稲雲」は実った稲穂が雲のように風に吹かれている様子だが、若々しくぐんぐん成長している緑の稲を描いた
 - ・日ごろ子ども達が見慣れた稲田の原風景を描いているが、自分達の郷土の稲田に誇りを持ってほしい
 - ・空に湧き上がり天に伸びる雲のように、志を高く持ってほしい
 - ・田園の稲や森の木々、草などの植物を多く描いているが、しっかりと地に根を張って成長してほしい
- その後、児童生徒代表の感謝の言葉と花束を贈呈させていただき、最後に國井先生と一緒にクラスごとに記念撮影をしました。

稲雲ホールに掲げた大きな絵は、今後本校のシンボルとなりますが、この絵に込められたように、稲田の地でしっかりと根を張りながら、志を高く持ち続けるとともに、ふるさとを愛する稲田っ子になって欲しいと思います。



「稲雲～天高く地に深く～」



國井先生（左から2人目と一緒に除幕



御礼の花束贈呈



1・2年生の記念撮影



3・4年生の記念撮影



5・6年生の記念撮影



9年生の記念撮影

いじめボクメツキャンペーン 私たちはいじめを絶対に許しません

本校では、現在いじめを稲田学園からなくするために「稲田学園いじめ防止基本方針」を策定して、全校で「いじめボクメツキャンペーン」に取り組んでいます。

その取組の一つとして、毎月困りごとアンケート・生活アンケートを行っていじめの早期発見に心がけています。小・中学校とも毎月数件の児童生徒からの訴えを把握し、全教職員で共通理解を図りながら、詳しく調査や面談等を行い対応しております。その結果、いじめと判断して、保護者と連携を図りながら、被害児童生徒へのサポート及び加害児童生徒への指導を行い、市教育委員会への報告した事案もありました。

また、3学期がスタートした1月8日（水）、始業式の後に生徒指導担当の先生より、「いじめボクメツキャンペーン」に関連した集会活動を行いました。

いじめの被害者となった少女の実話をもとにした絵本「わたしのいもうと」の読み聞かせを全校児童生徒に行い、いじめの悲惨さやいじめは絶対に許されない行為であることについて真剣に考えました。

その後各クラスで、次の約束事のほかに自分がいじめに関してできることを考えて、自分の宣言として記入して、廊下等に掲示しました。



生徒指導担当からのお話



いじめをみんなでなくすためには



「いじめボクメツ宣言」を廊下に掲示

わたしたち稲田学園は

「いじめをしない させない ぜったいにゆるさない」

- 気持ちのよいあいさつやあたたかい言葉を大切にします。
- みんな仲良く、仲間と自分自身を大切にします。
- 見て見ぬふりをせず、悪いことは悪いと言います。
- 困っている人をみつけたら、進んで行動します



今後も、いじめは「どの学校でも、どの学級でも、どの児童・生徒にも起こりうるものである。」という認識の下、いじめ問題に対して全力で取り組んでまいります。

インフルエンザの流行期になりました 感染予防にご協力を

現在全国的にインフルエンザが流行していますが、本校でも3学期になってからインフルエンザに罹っている児童生徒が見られるようになってきました。先週から3年生の児童がインフルエンザに罹ったり、体調不良等で欠席したりする児童がいます。

今後も増えることが予想されますので、次のような感染予防対策をお願いします。

- ① 手洗い・うがいをし、マスクの着用をする
- ② 部屋の換気と加湿器を使用して湿度を保つ
- ③ 十分な休養と栄養を摂る
- ④ 不要な外出は避ける

なお、インフルエンザになった場合、インフルエンザと診断された翌日から5日間かつ解熱後2日間の出席停止となります。また朝、体調不良や発熱などがありましたら、無理して登校させず、病院での診察をお願いします。



昨日1月20日は二十四節気の「大寒」。一年で一番寒い日とされていますが、今年は暖冬で例年よりは暖かい「大寒」だったのではないのでしょうか。本当にこの冬は雪が降らずに、車での通勤がスムーズで助かっていますし、子ども達の集団登校にとっても助かっています。しかし、この暖冬を手放しでは喜ばない人たちもいるはずで、スキー場関係者や冬の行事等を担当している人たちはその一例です。また農家の人たちに話を聞くと、来春の水不足を心配しています。夏の猛暑、大型台風の相次ぐ襲来、暖冬など、このところの異常気象は地球温暖化の影響でしょうか。今後の地球が心配です。